

あぶた福祉会

第32号

あぶた福祉会三十周年記念式典・祝賀会を終えて

平

成24年7月14日に社会福祉法人あぶた福祉会創立三十周年記念式典を、衆議院議員鳩山由紀夫様、北海道議会議員戸典臣様並びに北海道議会議員田村龍治様をはじめとする多くのご来賓と、170名の招待客を招き、ザ・ウインザーホテル洞爺で行いました。

式典では、社会福祉法人あぶた福祉会理事長菅原康次より「あぶた福祉会は三十年の歴史を刻みます。昭和51年当時、法人設立促進期成会及び設立準備委員会の会長を務められました鈴木昭様、初代理事長の故木村芳丸様ら有志の障害者福祉に対する熱い思いにより、障害者福祉施設を設置し、障害福祉の促進を図るべく計画を進めてまいりました。しかし、翌年52年8月の有珠山噴火災害により、計画は実現困難であるとの判断にたち、準備委員会は解散しました。有珠山噴火復旧に目処がついた55



年に再度、法人設立、障害者施設設置の機運が高まり、有志らと共に手をつなぐ育成会、里親の会、社会福祉協議会を中心に早期実現を目指す組織づくりのため、法人設立促進期成会を結成したのであります。さらに、清水友愛の里建設資金にあつては、国庫補助のほか、自己資金は町内自治会長の協力のもと、町民に対する募金活動で8割以上の町民から募金が寄せられ、まさしく町民総意の施設づくりでありました」と話がありました。

各表彰の贈呈では、法人に貢献していただいた個人1名と2団体、3企業に感謝状。そのほか、功労者表彰に鈴木昭様、従事者表彰に鈴木孝子様、成田憲子様、役員・職員へは永年勤続者表彰を受賞者16名にそれぞれ贈りました。祝辞では、衆議院議員鳩山由紀夫様、北海道副知事多田健一郎様、北海道議会議員戸典臣様、洞爺湖町長真屋敏春様の4名からいただきました。

これから、福祉施策が新しく展開される中、社会福祉法人あぶた福祉会では、障害福祉の推進と発展に向け、洞爺湖町における福祉の拠点としての役割を果たして行きたいと思っております。創立当初から今日に至るまで、支えてくださいました町民の皆様をはじめ、関係各位にあらためて敬意を表します。今後とも引き続き、あぶた福祉会に対しまして温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(Y・K)

うららかなる春の一日
晴天の中のお花見でした

ケアホーム『うらら』が開設してから9カ月が経ち、入居者7名は青葉地区の皆様に見守られ、うららかな日々を過ごしています。

5月27日(日)宮田農園にてお花見があり、うららの入居者全員が参加させていただきました。当日は晴天に恵まれ、心地よい陽射しの中で皆、「晴れて良かったね」と言っていました。が、肉や新鮮な野菜を焼くうちに、汗が額を流れていき「暑いね」と何度モタオルで汗を拭きながら、冷たいビールやジュースで喉を潤していました。焼きあがった肉や野菜をほおばり、普段は野菜嫌いな人も「美味しいわ」と言いながら沢山食べ、「こつやつて外で食べると美味しいね」と満足した表情を見せていました。

花見に参加した住民の皆様からもビールや肉を勧められ、いつもは小食の方も倍くらいの量を食べており、心配で声を掛けるほどでした。

住民の方から、「8月には盆踊りもあるからおいで」と声を



掛けられると「絶対に行く」と歓声を上げ、うららに戻つてからすぐに出掛ける用意をするくらい勢いで、盆踊りの話で盛り上がりました。皆の幸せそうな笑顔を見て、8月の盆踊りも参加させていただきたいと思いました。

楽しいひと時を提供していただき、青葉地区の皆様には大変感謝しております。住居名の由来である『うらら』は、陽光が晴れ晴れと照る様子、春の暖かな陽射しがやわらかく輝きわたる、周囲も何もかもが微笑んでいるように美しく見える様子を言いますが、まさしくそんな春の一日でした。

(M・S)